



野口英世博士像

横浜市 長浜ホール「野口英世博士への手紙コンテスト」原稿用紙

学校名  
父利谷東

6年

A組

名前  
十崎晋之助

博士の伝記を読んでおどろきました。医学  
 のために必死になつてなせこんなに頑張れる  
 のかが、ぼくには不思議です。一番おどろい  
 たのは、黄熱病にかかつてもなお研究をやめ  
 ながつた点です。ぼくならば、自分が研究し  
 てよく分かつていゝるからこそ怖くて逃げ出し  
 てしまふかもしれません。でも、博士は最後  
 まです立ち向かいましたね。それはきっと、皆  
 の期待にたえたい、苦しんでいる人を助けた  
 い、今まで支えてくれた人達に恩返しをした  
 いそんな強い思いがあつたからだと思います  
 きつとぼくは、博士のようには出来ません  
 でも、博士の一生を知つて、幼い頃から大変  
 な思いを決山しながらもあきらめずに、周囲  
 に支えられながら自分のやりたいことをヤリ  
 とげたあなたを尊敬します。だからこそ、ぼ  
 くも自分に出来ることを頑張つて、周りの人  
 を支えたり支えてもらつたりして誰かの役に  
 立つ人になりたいです。

(101)